

平成 29 年 1 月 25 日 (水)

第 26 回 職業能力開発研究会記録

1. 開催日時、場所

日時：平成 29 年 1 月 25 日 (水) 16:45～17:30

場所：職業能力開発総合大学校 3 号館 1 階 階段教室

2. 発表者、参加者数

16:45～17:30 テーマ

講演題目：指導員養成訓練における WEB 訓練（双方向遠隔授業）の実際と活用法

- (1) はじめに
- (2) PTU における WebEX Event Center 活用事例
- (3) WebEX Event Center の実演
- (4) まとめ

発表者：心身管理・生体工学ユニット 不破輝彦 教授

実演サポート：心身管理・生体工学ユニット 貴志浩久 助教

参加者数：51 名

3. 配布資料

講義用パワーポイントのスライドのコピー

4. 開会挨拶

小野寺教授から開会の挨拶ならびに、WEB を用いた遠隔事業の実演講演を行うに至った経緯説明が行われた。

5. 講演概要

(1) はじめに

職業能力開発総合大学校（以下、PTU）における通信制訓練の必要性について説明があった。特に長期養成課程の学生は、長期間 PTU を離れるため、通信制訓練を有効に活用することで訓練効果を高めることが可能ではないかとの報告があった。一般的な通信制訓練の方法（メールによる方法、ビデオ視聴による方法、テレビ会議による方法）ならびに Cisco WebEX Event Center の概要説明があった。

(2) PTU における WebEX Event Center 活用事例

実際に PTU 授業で活用された 3 件の事例紹介について説明があった。

① 職業能力開発研究学域「マンマシンインタフェース特論」

・受講者 2 名（学生）である。講師は不破教授である。動画を活用した通信訓練はネット環境に依存するが、音声については問題が無い。PDF ファイルや OFFICE ファイル、インターネットを共有することができる。また、通常授業と同様に実物のホワイトボードを活用した授業も

可能であると報告があった。

② 長期養成課程「訓練実施実践」

・受講者 3,4 名 (H28 年 7 月)、15 名 (平成 29 年 1 月～)。講師は安原准教授、新井准教授、藤田助教の 3 名であった。受講生が少ないと問題なく授業の実施可能である。しかし、受講生が増加すると授業コントロール (出席確認、途中退出の確認、寝ていないかなど) が困難になるとの報告があった。また、高級なオーディオインターフェイス機器を用いると音声が届かないなどのトラブル事例の説明があった。

③ 職業訓練開発研究学域「信頼性工学特論」

・受講生 1 名、講師は横川先生である。本特論では双方向の音声のみで授業を実施しており、授業実施において問題は生じていない。

(3) WebEX Event Center の実演

・不破教授、貴志助教、ユニット 1 の学生による WebEX Event Center の実演が行われた。実演は OS (Windows, iOS, Android) やインターネット環境 (光回線、wifi)、端末 (PC、タブレット、スマートフォン) が異なる多様な環境で行われた。

具体的な実演内容は、発言者のビデオ映像の自動選択、共有機能 (PDF ファイル、OFFICE ファイル、WEB 画面の提示) を活用した授業、各種画像の拡大機能であった。

(4) まとめ

WebEX Event Center の特徴ならびに運用上の問題点が具体的に示された。また、今後の活用事例案について説明があった。

5. 質疑応答

質問：遠隔授業を行う場合、講師が当校にいなくても授業が可能である。講師が、当校にいない場合、授業が実際に行われたかどうかを確認する方法はあるのでしょうか？

回答：WebEX Event Center には、遠隔授業を録画する機能がある。その機能を活用することで、授業の実施の有無を確認できると思われる。

質問：実際に最大でどの程度の人数で双向の授業が可能なものなのか。

回答：いままで実施してきた人数は、最大で 15 人である。この人数までの検証は実施できている。

6. 第 27 回職業能力開発研究会の日時ならびにテーマの紹介があった。

日時：平成 29 年 2 月 22 日 (水) 16 : 15～

テーマ「多様化するウェブ上のビッグデータの利活用に向けた情報抽出・統合手法の確立と今後」

講師：情報通信ユニット 遠藤雅樹 助教

以上